

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-030193  
 (43)Date of publication of application : 05.02.1993

(51)Int.CI. H04M 3/42  
 H04M 3/50

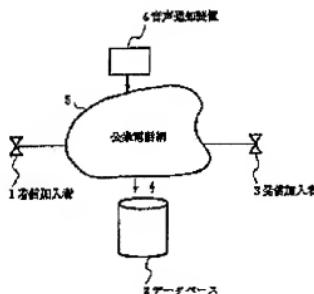
(21)Application number : 03-178582 (71)Applicant : NEC CORP  
 (22)Date of filing : 19.07.1991 (72)Inventor : NAKANO MASAKAZU

## (54) MALCIOUS CALL RESTRICTION CONNECTION SYSTEM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To prevent the incoming call of a malicious call by registering identification number when the incoming call is judged to be the malicious call and recognizing it hereafter so as to deny the incoming call.

**CONSTITUTION:** When the incoming call is discriminated to be the malicious call, an incoming call subscriber 1 dials a special number. An exchange receives identification information and sets the identification number of a calling subscriber 3 to be the caller of the malicious call and registers it in a data base 2. All the calls which are to be received by the subscriber 1 are checked whether they are the malicious call or not by accessing the data base 2. When it is judged to be the malicious call restriction of the connection is informed from a sound information device 4 by recorded sound.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-30193

(43)公開日 平成5年(1993)2月5日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

H 04 M  
3/42  
3/50

識別記号

府内整理番号  
E 9076-5K  
A 9076-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号	特願平3-178582	(71)出願人	000004237 日本電気株式会社 東京都港区芝五丁目7番1号
(22)出願日	平成3年(1991)7月19日	(72)発明者	中野 正和 東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内

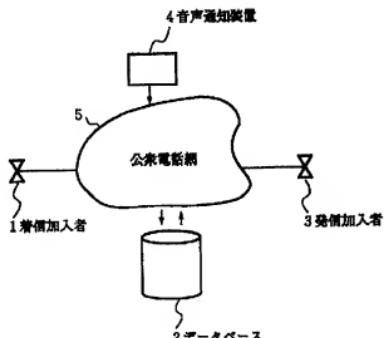
(74)代理人 弁理士 内原 晃

(54)【発明の名称】 悪意呼規制接続方式

(57)【要約】

【構成】公衆電話網5内に共通に使用されるデータベース2及び音声通知装置4を設ける。着信側の交換機は、着信接続時、着信加入者の電話番号と共に発信側から送信されるサービス加入者ごとに付与されたユニーク番号である個人識別番号を受信する。着信加入者1から着信呼が悪意呼であることを示すキャッシング情報及び所定の特殊番号を受信したときデータベース2を起動する。この着信加入者1の電話番号に対応してすでに受信した個人識別番号をデータベース2に登録する。以後、着信加入者1に着信時、データベース2を参照し受信した個人識別番号が登録されているか否かを確認する。登録されていることが確認されたら、この発信加入者3を予め所定のメッセージが録音してある音声通知装置4へ接続する。

【効果】いたずら電話防止サービスが付与された着信加入者への特定個人識別番号を持つ電話利用者からのいたずら電話着信を防止することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信網内に共通に使用されるデータベース及び音声通知装置を設け、着信接続時、着信加入者の電話番号と共に発信側から送信されるサービス加入者ごとに付与されたユニーク番号である個人識別番号を受信し、着信加入者から悪意呼の電話であることを示す情報を受信したとき、この着信加入者の電話番号に対応して前記個人識別番号を前記データベースに登録しておき、以後、前記着信加入者に着信時、前記データベースを参照し、受信した個人識別番号が登録されているか否かを確認し、登録されていることが確認された場合には、この発信加入者を予め所定のメッセージが録音されている前記音声通知装置へ接続することを特徴とする悪意呼規制接続方式。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は電話交換システムにおける悪意呼を規制するために用いられる悪意呼規制接続方式に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来いたずら電話などの悪意呼に対する着信加入者側の防御方法は、着信加入者は着信呼をモニターして悪意呼であることを知ると、この電話機にそなえられた予め録音してある音声を相手に聞かせたり、発信者の音声をこの発信者に返送する等の電話機が有するいたずら電話防止機能により対応しており、特にこの着信を規制してはいない。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この従来の電話機が有するいたずら電話防止機能を利用する方法では、着信加入者が応答し、いたずら電話と判断した場合に電話機操作によりいたずら電話防止機能を働かせるため、いたずら電話に対しても着信加入者は応答しなければならないと言う問題点があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の悪意呼規制接続方式は、通信網内に共通に使用されるデータベース及び音声通知装置を設け、着信接続時、着信加入者の電話番号と共に発信側から送信されるサービス加入者ごとに付与されたユニーク番号である個人識別番号を受信し、着信加入者から悪意呼の電話であることを示す情報を受信したとき、この着信加入者の電話番号に対応して前記個人識別番号を前記データベースに登録しておき、以後、前記着信加入者に着信時、前記データベースを参照し、受信した個人識別番号が登録されているか否かを確認し、登録されていることが確認された場合には、この発信加入者を予め所定のメッセージが録音されている前記音声通知装置へ接続する構成である。

## 【0005】

【実施例】 次に本発明について図面を参照して説明す

る。

【0006】 図1は本発明の一実施例を説明するための図である。図1では、いたずら電話防止サービスを提供されている着信加入者1に対しサービス加入者ごとに付与されたユニーク番号である個人識別番号を伝達する機能を有する公衆電話網5を介し、いたずら電話を発呼する発信加入者3が接続されており、公衆電話網5には、データベース2及び音声通知装置4が接続されている。

【0007】 以下に動作を説明する。着信加入者1を収容する交換機(図示せず)の着信接続時、いたずら電話防止サービスを提供された着信加入者1は着信呼をいたずら電話と判別したら、フッキング操作を行い、統いて網内に許容される特殊番号をダイヤルする。交換機はこれらの識別情報を受信し、網内に設備されている個人識別番号を利用したいずら電話防止登録のためのデータベース2をアクセスし、発信局側から送信されている発信加入者3の個人識別番号をいたずら電話発信者とし着信加入者1に対応して登録する。

【0008】 以後、いたずら電話防止サービスを提供さ

れた着信加入者1へ着信しようとする呼は、すべてデータベース2をアクセスしたいたずら電話であるか否かをチェックする。このチェック結果により、いたずら電話であると判断した場合、網内にある音声通知装置4への呼を接続し、いたずら電話として登録され着信加入者への接続が規制されている旨を予め録音してある音声にて通知する。

【0009】 なお、データベース2に登録した個人識別番号を消去するには、着信加入者1が解除用の特殊番号をダイヤルし、交換機がこれを受信、識別し、データベース2で該当の個人識別番号に対する消去指示を与えることにより行われる。

## 【0010】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、電話利用者の個人識別番号を伝達する網において、発信側から送信される個人識別番号を用いて網内に設けたデータベースに着信呼が悪意呼と判明したときに、着信加入者に対応してこの個人識別番号を登録し、以後この着信加入者への着信時、データベースによりこの登録の有無を確認することにより、いたずら電話防止サービスが付与された着信加入者への特定個人識別番号を持つ電話利用者からのいたずら電話着信を防止するという効果を有する。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例を説明するための図である。

## 【符号の説明】

- 1 着信加入者
- 2 データベース
- 3 発信加入者
- 4 音声通知装置
- 5 公衆電話網

【図1】

